

【大飯関連情報】 4号機でタービン動主給水ポンプの試運転中に警報が発生（消灯済）（第2報）

標記の件について、関西電力大飯発電所4号機（起動準備中）に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日（8日）午前に発生した、タービン動主給水ポンプの試運転中の警報に係る続報です。

警報の発報原因を調査したところ、ポンプの回転数を上限（定格の103%）まで上昇させたことにより発生した警報（「発信が予想されている警報」に該当）をリセットする際、ポンプの回転数を制御する系統を予備系に切り替えたため、「情報伝送盤軽故障」警報が中央制御室で発報したとのことです。

その後、当該ポンプの回転数を制御する系統については、常用系、予備系ともその健全性が確認され、現在は常用系により運用されています。

本警報は一連のポンプの試運転に伴い発生するものですが、事前に「発信が予想されている警報（検査に係る警報）」とは整理していなかったということです。

そのため、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画どおり起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

本事象は法令上問題となるものではなく、外部への放射性物質による影響、作業員等の被ばくはありません。

本件については、明日の現地の定例会見の際に説明いたします。

以上